

平成30年度

新任特別支援学級・ 通級指導教室担当者 研修講座

A班 小学校 第3日

◆ 平成30年10月3日（水）

午前中の研修内容は、アセスメント（子どもの実態把握）についてでした。講義や心理検査の実習を通して、アセスメントについての基本的な知識や様々な心理検査に共通する考え方、実施倫理等について研修しました。

午後は、受講者が日頃の授業で活用している教材・教具を持ち寄り、お互いに見合い、活用する方法について質問したり、実際に体験してみたり、写真に収めたりするなど、受講者同士の情報交換を通して、指導の幅や引き出しを増やすことにつながる時間となりました。最後の講義は、「交流及び共同学習」について、2名の協力者から実践発表があり、具体的な取組やその際の配慮点などについて、確認することができました。

3日間の研修では、特別支援学級・通級指導教室担当者として必要な基本的な部分についての研修を行いました。今後も、児童の実態に応じて必要な研修を積み重ねていって欲しいと思います。



指導主事より、アセスメントについての講義後、グループに分かれ、「LDI-R」「S-M 社会生活能力検査」のアセスメントの仕方について、実習を行いました。



自分とは違った視点で作成された教材・教具や専門性を生かして作られた教材・教具が見られ、指導の幅が広がりました。（受講者の感想）